

口腔顎顔面センター

— マキシロフェイシャルユニット —

あご・かお・くちのチーム医療
《口腔外科・形成外科・矯正歯科》

口と顎・顔のことでお悩みの方

口腔顎顔面センターにご相談ください。

1. 抜歯と薬について

Q: 血栓予防の薬を飲んでいる。

A: 内服薬を継続したまま抜歯が可能です。
減量・休薬の必要はありません。

Q: 骨粗鬆症の薬を飲んでいる。

A: 顎の骨の状態によっては休薬後に抜歯をする場合があります。

2. 親知らずの抜歯について

Q: 入院が必要か?

A: 特別な理由がなければ外来治療です。

3. 顔について

Q: 下あごが出ている。ゆがんでいる。非対称。

A: これらの状態を顎変形症といいます。
健康保険を使って歯科矯正治療と手術で
治ります。矯正治療開始から手術まで1年
程度、手術時の入院は1週間くらいです。

4. 口の健康について

Q: 口内炎が治らない。舌や歯肉に白や赤い斑がある。

A: 前がん病変(がんになる可能性が高い)や、がんの
可能性があります。早い受診を勧めます。

5. あご関節について

Q: あごが痛い。あごの関節の音がする。
口を開けにくい。

A: いずれも顎関節症という状態です。噛む習慣、
噛み合わせの高さ、大きく口を開けたなどを
契機に発症します。開口障害とならないように
治療をします。

6. 噙み合わせや歯並びについて

Q: 子どものあごがゆがんでいる。
前歯が逆にかんでいる。口が閉じにくい。

A: 歯科矯正治療で治る場合が多いです。
ご相談ください。

口腔顎顔面センターとは

口腔顎顔面センターは、あご、かお、口を総合的に治療するところです。口腔外科医、形成外科医、矯正歯科医など、「かお」に関する専門医が医科や歯科の枠組みを超えて「チーム医療」で、また、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士などが一緒にチームを組んで患者さんをサポートしています。当診療部門は虫歯や入れ歯などの歯科治療は行っていませんが、「あご・かお・くち」についての悩みがございましたら、お問い合わせください。

口腔外科



松本 有史 (まつもと ゆうし)

マキシロフェイシャルユニット部長
資格：日本口腔外科学会認定 口腔外科専門医
日本口腔外科学会認定 指導医
日本顎面インプラント学会認定 指導医
AOCMF JAPAN Delegate
ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor

形成外科



古川 雅英 (ふるかわ まさひで)

名誉院長 口腔顎顔面センター長 創傷ケアセンター長
資格：日本形成外科学会認定 領域指導医
日本形成外科学会認定 形成外科専門医
日本頭蓋顎面外科学会認定 頭蓋顎面外科専門医
日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
日本形成外科学会認定 皮膚腫瘍外科指導専門医
日本フットケア・足病医学会 理事
ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor
日本医療機能評価機構 (JQ) 認定 医療安全管理者

竹内 正彦 (たけうち まさひこ)



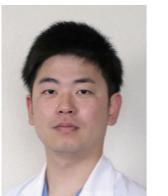
口腔外科医員
資格：日本口腔外科学会認定 口腔外科認定医
ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor



石原 博史 (いしはら ひろし)

形成外科部長
資格：日本形成外科学会認定 形成外科専門医

鯫島 潤星 (さめしま じゅんせい)



口腔外科医員

矯正歯科



小椋 幹記 (おぐら みきのり)

矯正歯科部長
資格：日本矯正歯科学会認定 矯正歯科認定医・指導医
ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定 認定士
日本顎変形症学会認定医（矯正歯科）



廣田 優志 (ひろた ゆうし)

矯正歯科医員

診療内容のご案内

がくへんけいしょう 顎変形症

上あごと下あごのバランスや左右の対称性が損なわれている状態を顎変形症といいます。受け口、出っ歯、小下顎症、ガミースマイル(笑った時に歯ぐきが見える)などの症状が挙げられます。歯科矯正治療と手術で改善します。

外傷

交通事故やスポーツなどによる負傷、転落や打撲による外傷や骨折の治療を行います。傷あとや変形、噛み合わせの回復・改善を図ります。ラグビー・ボクシング、サッカーなどでの歯、あごや鼻の損傷を予防するためのマウスピース、顔面部プロテクターなども作成します。また、顔面腫瘍など、顔のできものが良性か、悪性かを診断した上で治療や、手術後の変形、目立つ「傷あと」「ひきつれ」の治療も行います。

口腔機能の維持 生活の質を維持するために

口は生存とコミュニケーションのためのツールとして進化してきました。いろいろな組織が複雑な機能を果たし、病気などで障害されると多彩な症状があらわれます。
口や顔の腫れ、痛み、しづれ、口が乾く、味がわからない、治らない口内炎や腫瘍、口臭、口を開けにくいなどの症状はありませんか？
三叉神経痛、口腔関連痛、浮腫、唾液分泌障害、味覚障害、粘膜疾患、前がん病変、骨髓炎、膿瘍や顎関節症などの治療が対象です。

こうしんれつ こうがいれつ 口唇裂・口蓋裂

生まれた時に唇が離れている状態の先天性疾患です。生後すぐに哺乳補助装置の作成、哺乳指導、手術前の鼻や唇の矯正、形成手術、言語訓練、歯やあごの矯正治療などを適正な時期に実施します。出生後から成人するまで関わります。

矯正歯科

あご、口元、噛み合わせ、歯並びのゆがみの相談と治療を行います。重歯、乱ぐい歯、前歯が噛み合わない、受け口、出っ歯などのゆがみの原因を成長の過程で取り除き、ゆがみの修正を行います。場合によっては、歯を抜くことや手術が必要なこともあります。必要に応じて複数の専門医(口腔外科や形成外科など)と連携して治療を進めます。

口腔顎顔面センターの診療室は、プライバシーへの配慮、感染予防の観点からすべて個室です。清潔感あふれる空間で、安心して治療をお受けいただけます。



受付



待合室



診察室



診察室

顎変形症

「前歯が出ている」、「うまく噛めない」、「受け口だ」・・・。
気になる口元のコンプレックス、専門医だから治せることができます。

顎変形症は、上あごと下あごの大きさのバランスや、左右の対称性が損なわれている顎の発育障害です。病状は、下あごが突き出した下顎前突、噛みづらさを感じる咬合不全、上あごの歯肉が上唇より下がっているため、笑うと上の歯ぐきが見えるガミースマイルなどが挙げられます。まずは、顔、あご、歯のレントゲン撮影やCTなどによる検査を通じ、治療方針を決定するために必要な情報を集め、解析します。歯の矯正治療だけでは、解決できない場合、あごの前後、左右、上下のズレなどを

正しい位置まで移動させる外科的手術を行います。
(※下あごの成長が終わった15歳頃から手術可能)
手術は、すべて口の中で行われるため、皮膚に傷あとなどは残りません。また、全身麻酔で行なうため、手術中に痛みを感じることもありません。全身麻酔については、専門の麻酔医が常勤し、術前術後管理を徹底していますので、安心して手術を受けることができます。手術自体は1時間半ほどですべて終了。翌日から食事を摂ることができます。

治療の流れ



歯とあごの発育状態や形態の検査を行い、噛み合わせ顔貌の改善を考慮した治療計画を立案。患者さんにわかりやすく説明します。

治療計画に基づいて、手術時に歯が咬み合うように、歯を移動させます。その際、一時的に噛み合わせに不具合が生じますが、手術後は正常に噛めるようになります。

上あごや下あごの骨を切り、骨を前後・左右へ移動や回転させます。最適なポジションで、小さなネジやプレートを使って、骨をしっかりと固定します。入院は1週間程度です。

退院後、噛み合わせの最終調整とアフターケアを行ないます。治療完了までの期間は、数ヶ月おきに定期検診を実施します。

矯正歯科

「笑顔に自信が持てない」「あごの動きや発音の問題」「虫歯になりやすい」そのままにしておくとこういった問題が挙がってきます。

あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみの相談と治療を行います。あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみがあると、一般的に成長に伴ってそれがはっきりわかるようになります。また、程度がひどくなります。成長期のお子さんでは、これらゆがみの要因を成長の過程で取り除いていきます。成長の落ちついた方では、ゆがみを修正します。このために歯を抜くことが必要な場合があります。また、ゆがみが大きい方では、手術が必要な

場合があります。必要に応じて口腔筋機能療法(噛み方や飲み込み方などのお口のトレーニング)を行います。あごの動きと筋肉の動きを同時に記録できる顎口腔機能検査機器、CT320列などを使用して検査・診断を行います。必要に応じて複数の専門医(口腔外科や形成外科など)と連携して治療を進め、痛みを軽減することに取り組んでいます。子どもからご年配の方まで一度ご相談ください。

治療の流れ

■ 乳歯と永久歯が混在している成長期のお子さん

STEP1 歯科矯正相談

来院前にご予約してください。
保護者の方の同伴でご来院ください。

STEP2 歯科矯正検査・診断、治療開始の決定

主にあごの成長のバランスを乱す要因を取り除いていきます。
●所要期間
1年～数年/月1回～半年に1回の間隔で。

STEP3 成長期(はえかわり時期)の歯科矯正治療

必要に応じて仕上げの治療を行います。また、残ったゆがみの修正を行います。
●所要期間
2年～3年
月1回程度の間隔で。

STEP4 永久歯の歯科矯正(マルチブラケット)治療

歯の後戻りを防ぎ、安定化を図ります。
●所要期間
2年～3年
3～6カ月に1回程度の間隔で。

STEP5 保定(アフターケア)

歯の後戻りを防ぎ、安定化を図ります。
●所要期間
2年～3年
3～6カ月に1回程度の間隔で。

STEP6 経過観察

ご希望の方のみ、1年～数年おきにご来院いただき、経過を診ています。

■ 全て永久歯に生えかわっている中学生以降のおとな

STEP1 歯科矯正相談

来院前にご予約してください。
未成年の方は保護者の方の同伴でご来院ください。

STEP2 歯科矯正検査・診断、治療開始の決定

マルチブラケット装置で歯並びを修正します。
●所要期間
2年～3年
月1回程度の間隔で。

STEP3 永久歯の歯科矯正(マルチブラケット)治療

歯の後戻りを防ぎ、安定化を図ります。
●所要期間
2年～3年
3～6カ月に1回程度の間隔で。

STEP4 保定(アフターケア)

歯の後戻りを防ぎ、安定化を図ります。
●所要期間
2年～3年
3～6カ月に1回程度の間隔で。

STEP5 経過観察

ご希望の方のみ、1年～数年おきにご来院いただき、経過を診ています。

ご予約・お問い合わせ

大分岡病院 地域・患者総合支援センター
TEL 097-503-5033

■予約受付時間

8:00 ~ 17:00 (月～金曜日)
8:00 ~ 12:00 (土曜日)

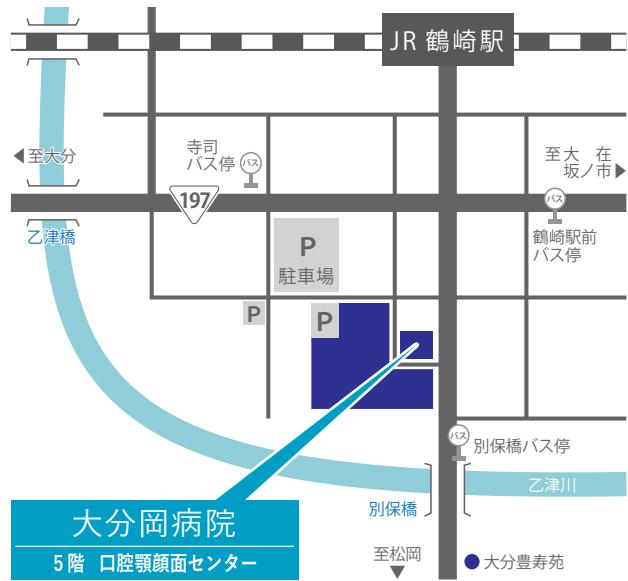
■診療受付時間 ※矯正歯科は土曜診療を行っています。

9:00 ~ 16:30 (月～金曜日)
9:00 ~ 16:30 (土曜日) 矯正歯科のみ



口腔顎顔面センター
WEB サイト

アクセスマップ



《交通アクセス》

- ・JR鶴崎駅より徒歩 5 分
- ・国道 197 号線最寄バス停「鶴崎駅前」または
「寺司」より徒歩 5 分



社会医療法人
敬和会 大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎 3-7-11

電話番号：097-522-3131(代) / FAX番号：097-503-6606

WEB サイト <https://keiwakai.oita.jp/oka-hp/>

2025.5